かけはし

金橋小学校だより　No.17
2026(令和8)年10月14日
発行者：伊禮徳彦

10月全校朝の会

雨が多かった9月が終わり、過ごしやすい季節、10月。全校朝の会の様子です。



●校長から

ふるさとを見つめる

・土曜日、曲川でも祭りがありましたね。行った人？「楽しかった！」夏には、校区民祭がありました。行った人？「楽しかった？」坊城ではほうらん祭りがあったり、地蔵盆があったり。そこに行くと、楽しい思いをしたり、ワクワクしたりしたでしょう？ では。そのお祭りや、地域の行事がみんなが楽しくより安全に行われるためには誰が動いてくれたんだと思う？「自治会の人！」よく知っていますね。自治会の人や地域の方がしてくれています。

・では、地域の人はなぜそこまでしてくれるのだろう？「みんなを楽しませるため」地域の人は、子どもたちはもちろん地域に住んでいる人の笑顔をふやすために、自分のしごとやすべきことがたくさんある中で、地域の人のために動いてくれています。

・ふるさとっていう言葉を知っていますか？「生まれたところ」 先生は、先週の木・金と北海道で、「ふるさと」をテーマに勉強してきました。北海道の学校では、アイヌ民族のことを学んだり、コメ作りを一緒にしたり、漁業のことを学校で学び、宮崎の高千穂にある学校は神楽があってその伝承に努めていると言っておられました。全国の学校ではそれぞれの地域が「ふるさと」になるために様々な取り組みをしていました。

みんなにとっての「ふるさと」はここ、金橋です。校区民祭、曲川のお祭り、ほうらん祭……。 みんなが思い浮かべた楽しい思い出の裏側には、忙しい中でも『金橋の子どもたちに笑っていてほしい』と願って動いてくれる地域の方々の温かい想いがあります。生まれ育った場所が、最初から『ふるさと』なのではありません。地域の人たちの想いに触れ、楽しかった思い出が重なったときに、その場所は『自分にとっての大切なふるさと』になっていきます。

みんなが住んでいる金橋は、たくさんの大人の優しさと思いで支えられている『ふるさと』です。

じゃあ、これからの金橋を『もっと大好きなふるさと』にしていくために、みんなには何ができるかな？「地域の人に元気よくあいさつをする！」そうですね、地域の一人として、みんなにも自分ができることをしてほしいなぁと思います。

●生徒指導担当の西浦先生から

分団登校について

・2学期の初めに分団会をしてから1か月経ちました。

・分団できまりを守って安全に登下校できていますか。

・分団登校を振り返って、安全に登校しましょう。



●運営委員さんから「10月の生活目標について」

運営委員さんから「登下校をきちんとしよう」と、みんなに守ってほしいことをしっかりとした口調で伝えることができました。

～携帯電話やSNSを通してのトラブルについて（再掲）～

かけはし No.7 でもお伝えさせていただきました。最近は、ゲームをしながら携帯でお話をしているそうです。ゲームでヒートアップしたその口調で、電話や line でお話することになり、その中でのトラブルがまた増えてきています。

〇携帯電話やスマートフォンは、各ご家庭の判断でお子様に持たせているものです。使用方法や利用時間、投稿内容、やり取り等につきましては、保護者の責任のもとで管理・指導をお願いします。

特に、

・相手を傷つける言葉
・悪口や仲間外れ
・写真や動画の無断撮影や無断送信
・個人情報の掲載

などは、重大なトラブルにつながる可能性があります。

学校でも、情報モラルについて指導を行っています。教室でも時を見てお話をしています。しかしながら、SNS 上での個人的なやり取りや家庭外での通信機器の使用に関するトラブルにつきましては、基本的には各ご家庭での対応をお願いします。

お子様が、安心・安全に利用できるよう、各ご家庭で今一度、携帯電話や SNS の使い方について今一度話し合っていただきますようお願いいたします。